

A. 研究助成「学問の未来を拓く」

No	研究テーマ	代表者
1	20世紀後半の社会運動史資料の収集・整理・展示活用にかかる学際研究:散逸の危機にある現代史資料を守るための手法開発	長野大学環境ツーリズム学部 准教授 相川 陽一
2	中国内戦をめぐる国際政治 —— 米ソの対中軍事支援の比較研究	東北大学大学院法学研究科 教授 阿南 友亮
3	夜 — 都市 — 音楽の探索的研究:都市政策・地理情報・フィールドワークを活用したインター ディシプリンな取り組み	筑波大学芸術系 助教 池田 真利子
4	在外邦人の保護、輸送、救出を巡る理論と実務	防衛大学校人文社会科学群 准教授 石井 由梨佳
5	学際としての「北陸学」の構築を目指して	金沢大学国際基幹教育院 准教授 井出 明
6	不信学の創成 —— 「健全な不信」の実現を を目指して	大阪経済大学経営学部 専任講師 稲岡 大志
7	和食の国際化に伴う食哲学の変容・再構築	京都産業大学経営学部 准教授 井村 直恵
8	万葉考古学の創始	奈良大学文学部 教授 上野 誠
9	イスラームと酒:シャリーア・国家・伝統文化 の緊張関係を読み解く	日本学術振興会 特別研究員 P D (受入れ機関:中央大学) 海野 典子
10	電子地域通貨 T a r c a を用いたヒト・モノ・ カネの地域内循環の包括的研究	小樽商科大学 副学長 江頭 進
11	e スポーツ倫理の構築に向けた対戦型ビデオ ゲームの文化と規範の研究 —— スポーツ 倫理学とゲームスタディーズの架橋	広島大学大学院文学研究科 助教 岡本 慎平
12	ブランドから「物語」を紡ぐ仕掛けとしての 地理的表示	学習院大学法学部 教授 小塙 莊一郎
13	権威主義体制国家と国際協力 —— アジア・ 中東・アフリカの比較からみるグローバル秩序 の揺らぎ	日本エネルギー経済研究所中東研究センター 研究員 小林 周
14	ソーシャル・ファイナンスを促進する制度的 基盤に関する比較研究 —— 東アジアにおける エコシステムの構築に向けて	学習院大学国際センター 准教授 小林 立明

15	人と知識と社会をつなぐメディアとしての「本」と「書店」に関する参加型研究	東北大学大学院情報科学研究所 講師 坂田 邦子
16	インターネット時代のオーラル・ヒストリー —— 次世代による基盤整備と刷新	東京大学先端科学技術研究センター 助教 佐藤 信
17	エアバスの歴史 —— 欧州統合史として見る 政府間協力からグローバル企業への脱皮	北海道大学公共政策大学院 教授 鈴木 一人
18	創造的な発想力はどこから生まれるか? ～ 知能と芸術的才能の関連性を探る ～	マックス・プランク認知神経科学研究所 (ドイツ) 研究員 大黒 達也
19	米中関係の新展開と東アジア国際秩序の変化	政策研究大学院大学 教授 竹中 治堅
20	デジタル民主主義と選挙干渉： 日本・アジアにおける選挙干渉のリスクと脆弱性	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授 土屋 大洋
21	1970年代における「若者」表象の研究 —— 政治の季節と大衆消費社会のはざまで	立命館大学産業社会学部 准教授 富永 京子
22	シチズンサイエンスの普及にむけた概念整理と プラットフォーム構築の提案	大阪大学全学教育推進機構 准教授 中村 征樹
23	古代から中近世にわたる山城・城柵・グスク・ チャシの変遷に関する研究 ～ 構造の3次元 モデル比較と防禦機能に関するシミュレーション ～	佐世保工業高等専門学校一般科目歴史科 教授 堀江 潔
24	新技術「船舶自動識別装置（AIS）」が再認識 させる日本の海洋法政策のジレンマ —— 日本 領海内「国際海峡」存在認定問題とその対応 方法	大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 真山 全
25	国際的な企業不祥事の予防・対応・再発防止に 関する基礎理論の研究 —— グローバル法学の 方法論の確立に向けて	信州大学社会基盤研究所 所長 丸橋 昌太郎
26	戦争神話の形成過程 —— 1944年8月の 対馬丸遭難を事例に	文筆業 宮武 実知子
27	学問の方法としての研究者越境マインドの考察	京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 宮野 公樹
28	生成期の宝塚歌劇とレビューのグローバリズム・ 政治・身体	立命館大学文学部 教授 宮本 直美

(敬称略、肩書きは申請当時)

B. 研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」

No	研究テーマ	代表者
1	和歌の発祥の地で現代の「短歌を詠む」文化継承に関わる社会文化的要因の研究	奈良大学社会学部 教授 島本 太香子
2	民俗芸能「エイサー」の創作にみるグローバル化と再ローカル化に関する研究：越境する琉球國祭り太鼓の活動を中心に	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科 准教授 城田 愛
3	限界集落における祭礼・民俗芸能の新たな継承可能性：住民・他出者・移住者・アーティストの協働を通じた継承へのとりくみ	滋賀県立大学人間文化学部 准教授 武田 俊輔
4	移住した震災ボランティアと地元住民がタグを組んで実践するまちづくり	常磐大学人間科学部 教授 旦 まゆみ
5	地歌舞伎文化の保存と継承を考える～下呂市における地歌舞伎保存会の活動研究を通して～	岐阜県立益田清風高等学校 教頭 中村 浩一
6	地域型アートプロジェクトは多様性と創造性を文化にできるか 取手アートプロジェクトの20年から探る人的芸術文化資源の変容と展開	特定非営利活動法人取手アートプロジェクト オフィス 事務局長 羽原 康恵

(敬称略、肩書きは申請当時)

以上